

【グローバル教育取り組み部門】

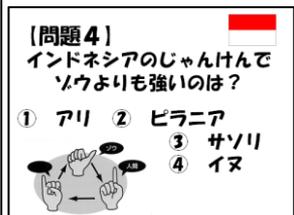
<p>タイトル</p>	<p>「にじのせかいをつくろう」～想像力と遊び心を生かしたESD～</p>
<p>実践者／団体名</p>	<p>幸田 隆</p>
<p>実施日・期間</p>	<p>2014年4月～2015年3月（学級経営、全教科、領域において実施）</p>
<p>主な実施場所</p>	<p>豊田市立若林東小学校</p>
<p>参加者及び人数</p>	<p>第3学年の児童34名</p>
<p>目標・ねらい</p> 	<p>本年度の学年のテーマは「にじ」。7つの色が関わり合って（相互性）、美しい色を作る「にじ」は、多様性が持つポジティブな面の象徴である。また、「にじ」は雨の後にできるもので、困難な道の先には希望があるという、未来へのポジティブなイメージを広げてくれる。さらに、限りあるものである「にじ」（有限性）からは、今この瞬間を大切にして、精一杯生きる大切さを学ぶこともできる。そこで、まず、「にじ」の世界を、多文化共生の幸せな世界、持続可能な社会と位置づけた。そして、子どもたちが「にじのせかいをつくろう」という大きな課題を持ちながら、ESDで重視される力を育んでいくことを目指した。</p>
<p>具体的な取り組み内容及び工夫・配慮した点等</p>  <p>ハイタッチでつながろう！</p>   <p>つながると「笑顔」いっぱい</p> <p>オリンピックのはたの意味は？ わ＝「国」 国と国が つながる</p>  <p>思いやり算</p> <p>+ たす○○○ - ひき○○○ × ○○○かけ○ ÷ わけ○○</p>  <p>学年集会のスライド</p>  <p>暗唱詩文集 1</p>	<p>ESDで重視される力を単発の学習で培うことは極めて困難である。そこで、年間を通して、学年・学級経営や行事、すべての教科や領域の学習において、ESDとの関連する内容を見出し、実践していくように心がけている。（参考資料「ESDカレンダー」参照）</p> <p>また、本実践では、子どもの想像力と遊び心を生かすように工夫・配慮している。子どもの想像力と遊び心は、子ども本来の強みである。その強みを生かすことで、ESDが重視する態度・能力が伸び伸びと育っていくと考えた。</p> <p>1. 学年・学級経営</p> <p>1) 学年集会・通信・学校賞（若東賞）</p> <p>「にじ」というテーマに以下の3つのサブテーマを設定。これらを参加型ワークショップ形式の学年集会で定期的に伝えている。子どもが好きな動物を扱ったユーモアのある写真や絵など感性に訴えるスライドを使用。学年通信は「にじ」、学級通信は「35色のにじ」というタイトルで、保護者に、テーマに関連した活動を発信している。テーマにそった態度・能力を示した子どもにキラキラカードを渡し、累積10枚で学校賞を与え賞賛している。</p> <p>① かがやく： 自分の目標に向かって努力をしたり、みんなのために努力をしたりすることで一人一人が輝く。また、一人一人が「にじ」の一色一色のような輝きを放つ、つまり、自分のよさを発揮する。同時に、学級や学年全体がチームとして、「にじ」全体のような輝きを放つ。同時に、「きょうまくいく」という自信や未来への希望を広げる。 → 未来を予測して計画を立てる能力、進んで参加する態度（ESDで重視する態度・能力）</p> <p>② つながる： 未来や夢と今がつながる、自分と世界がつながる、人と自然がつながる、自分と他人の心がつながる、各教科・領域の学習内容がつながる。 心がつながるキーワードとして、ACジャパンのCM「おもいやり算」を用いる。 「おもいやり算」はESDの中心概念と関連している。たし算の「たす」け合う」は、相互性と連携性、ひき算の「ひき」受ける」は責任性、かけ算の「声を「かけ」る」と、わり算の「わけ」合う」は相互性と公平性につながっている。 → 多面的・総合的に考える力、他者と協力する態度（ESDで重視する態度・能力）</p> <p>③ 「みんなちがってみんないい」： この考えは「違いがあるから面白い」「違いがあるから助け合える」「違いがあるから成長できる」という多様性のよさとつながっている。また、一人一人を大切にするという公平性とも関連がある。 → コミュニケーション力、つながりを尊重する態度（ESDで重視する態度・能力）</p> <p>2) 暗唱詩文集 ～多様性・相互性・有限性・責任性・公平性・連携性</p> <p>「にじ」のテーマやESDの中心概念への理解を深めたり、想像力を広げ、言葉に対する感性を育てたりするために、関連する詩を選び、暗唱を行った。また、ユーモアや語呂合わせの面白さを持った「おならはえらい」「じこしょうかい」など、遊び心のある詩も暗唱した。国語の音読、群読の授業に取り入れたり、身振りを入れて楽しみながら表現したりもした。さらに、「にじ」や「わたしと小鳥と鈴と」は歌もあるため、歌うという音楽活動も想像力を広げる手立てとして用いた。（参考資料「暗唱した詩の例」参照）</p> <p>3) 国名付けと国旗作り ～多様性・連携性</p> <p>班は国と考えられ、子どもたちで、レインボーロードなどの国名が付けられ、班の呼称として毎日使われる。また、班の未来、理想の姿を想像して、国（班）旗を作成し、掲示した。</p>



習字による多様な表現のよさ



多様性のよさを体で表現



世界のはてまで知ってQ



楽しく使おう！外国語



ミャンマーの遊びの紹介



フィリピンへの絵手紙 (トウライ・プロジェクト)



「線であいさつ、色でお話」

4) 「書でアート」： 「にじ」習字コンクール ～多様性

武田双雲氏のような書道アートをイメージして、子どもたちは遊び心を持って、自分らしい「にじ」を毛筆で書いた。子どもたちの投票により金・銀・銅賞を決めた。学級通信「35色のにじ」で、作品と結果を多様性のよさというメッセージをそえて、保護者に発信した。

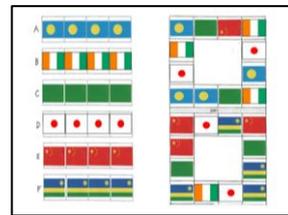
2. 行事

1) 運動会： ダンス「にじをかけよう！大空へ」 ～多様性・連携性

想像力を発揮し、ダンスを通して、一人一人が多様な色のポンポンを使い、みんなで力を合わせて、「にじ」の形を全身で表現した。

2) 祖父母参観： 図画工作科「国旗合わせパズル」 ～多様性

子どもたちは多様な色や形をした国旗を使って作る「国旗合わせパズル」を家族と共に作り、遊んだ。



3) 学芸会： 国際理解劇「本当の宝物」(11月)

この劇では、多様性、相互性、有限性というESDの中心概念が扱われている。想像力を働かせ、劇の役になりきったり、劇で登場する国のあいさつを考えたりする。そして、みんなで力を合わせて、多様性の素晴らしさを観客に伝える活動を通して、コミュニケーション力や協力する態度などESDで重視される態度・資質が育まれると考える。

3. 総合的な学習の時間： 国際理解「世界とつながろう！みんなのえ顔」(70時間)

1) 導入「世界のはてまで知ってQ」： ～多様性

「4つのコーナー」クイズに答え、世界の遊びを体験しながら、多様性の面白さを感じた。

2) 「楽しく使おう！外国語」 ～多様性・相互性

身近な人と関わりながら、外国語のあいさつについて調べ、発表し、学校生活で使う活動。子どもたちは、あいさつ、健康観察の返事、授業の号令、プリントの受け渡しなど、日常生活の中で、外国語を使っている。子どもたちは、外国語の仕組み、響き、発音の面白さにふれることによって、外国語を楽しんでいる。また、外国語の表現を似た発音の日本語に変えたり、ダジャレを言ったりする遊び心を促しながら、言語の多様性の面白さを実感できるように工夫した。(参考資料「外国語の面白さの例」参照)

リコーダーの教科書に載っているメキシコ伝統曲「車にゆられて」の原曲名は「ラクカラッチャ(ゴキブリさん)」。この歌をスペイン語で教えたところ、子どもたちの遊び心に火が付き、すぐに暗唱。いつもみんなで熱唱していた。

12月には、ひらがなを、ハングル、キリル、アラビアなど世界の文字に変換してくれるWEBサイトを使って、「世界の文字で名前を書こう」を実践する。子どもたちが、ノートやプリントの名前を書くときに外国語を使う遊び心を促し、一緒に楽しみたい。

3) 「みんなで遊ぼう！世界の遊び」 ～多様性・相互性・責任性・連携性

まず、インドネシア、ミャンマー、中国出身のゲストティーチャーから世界の遊びを学び、体験した。次に、世界の遊びについて、本で調べ、班で紹介し合い、みんなで遊んだ。そして、「1年生に世界の遊びを広げよう」という課題を子どもたちと共に設定した。現在、12月の発表に向けて、活動計画を立てて、準備を始めた。

4) 「地球のかけ橋・絵手紙大会(トウライ・プロジェクト)」～多様性・相互性・責任性・連携性

フィリピンの支援をしているNGO「アイキャン」のトウライ・プロジェクトに参加。フィリピン社会の光と影を知り、テーマ「自分を笑顔にするもの」を考えて、絵手紙を書いた。2月、フィリピンから届いた絵手紙を見て、どのような世界を創りたいか想像し、絵を描く。

5) 「よさを味わおう！世界の料理」 ～多様性・相互性・連携性

子どもたちは「世界のはてまで知ってQ」で紹介された、ボリビアのピンクの塩がお気に入り。給食の残りご飯でおむすびを作るときに使っている。9月、マヨネーズ工場見学の前、マヨネーズ作りに取り組んだ。その際、わさびや醤油などを加えて、アレンジマヨネーズ作り遊びをして、味の多様性の魅力を感じている。1月には育ててきた大豆を使って、日本の豆腐作りを体験。2月、外国の方に外国の料理を教えてもらい、外国の新しい味も体験する。最後に、班ごとに世界のデザートを作り競い合う、世界のデザートコンテストを開催する。

4. 図画工作科 ～多様性・相互性・連携性

1) 絵「線であいさつ、色でお話」： 色と形によるコミュニケーション

まず、4人組に分かれて、各々がB紙の角に自分の国を描いた。次に、友達の子の絵を見て、相手の思いや好きなことを感じ取った。そして、教師が「国同士が関わり合いながら多様な感情(緊張→楽しい→さびしい→幸せ)を体験していくお話」の読み語りをした。子どもたちは、この話の流れにそって、クレヨンや絵の具を使って、多様な感情を自分の色や線



「広がれ、つながれ」



「つるして、つながれ」



子どもたちが作った国旗「レインボーサンフラワー」～にじやヒマワリのようにかがやく班になりたい～



「外国産の品物がいっぱい」
(スーパーの社会見学)

で表現しながら、4人で力を合わせて1つの大きな絵を描いていった。

2) 造形遊び (図画工作科の内容「表現」の一つ)

造形遊びは、子どもたちが材料や場所といった環境に対して主体的に働き掛け、自分なりの意味や価値をつくり出していく活動のことである。ここでは遊び心が重視される。「広がれ、つながれ」では、多様な色(10色)のビニールシートをつなぎ合わせた。そして、この大きなシートを用いて、班で協力して多様な遊びを考え、自由に遊ぶ活動を行った。「つるして、つながれ」では、頭上に張ったひもに、加工した紙を自由につるして、つなげていった。子どもたちは、つなげた形や、寝転がって視点を変えて見つけた形で、想像力を発揮し、見立て遊びをした。そして、全員で協力して、つながった紙で教室全体を埋め尽くしていった。

5. 他の教科・領域：「もしもの世界」～多様性・相互性・有限性・責任性・公平性・連携性
想像力と遊び心をESDに生かすための手立てとして、次のような「もしもの世界」をテーマとする対話を行っている。(参考資料「もしもの世界」参照)

ESD概念	対話のテーマの例 (実施した教科・領域)
多様性	<ul style="list-style-type: none"> もしもみんなが同じ顔/性格/〇〇さん/意見だったら？ (学活) もしもすべての昆虫が黄色の花だけが好きで他の色の花がきらいだったら？ (理科) もしも白・黒/三角形・丸だけの世界だったら？ (図工) もしも料理/味/においが1つしかなかったら？ (総合) もしも外国産の品物がなかったら？ (社会)
相互性	<ul style="list-style-type: none"> もしも自分が太陽/風/花だったら、何を言いたい？どんな〇〇になりたい？ (理科) もしも失敗しない(完璧な)人間しかいなかったら？ (学活・道徳) もしも太陽/風/磁石/木/花がなかったら？ 虫/コマギサがいなかったら？ (理科) もしも〇〇さんがいなかったら今の自分はどうなっている？ (学活) もしも夢が叶って、やりたい仕事をしていたら、どんな生活をしている？ (学活)
有限性	<ul style="list-style-type: none"> もしもみんなが電気/水/ものを無駄づかいばかりしていたら？ (社会・学活) もしも人がヒマワリのように一度に2000人ずつ赤ちゃんを産んだら？ (理科) もしも永遠にこのクラスが続いたら？ (学活) もしも3週間後に巨大隕石が落ちてきて地球が滅亡するとしたら？ (学活)
責任性	<ul style="list-style-type: none"> もしも誰も係の仕事/掃除をしなかったら？ (道徳・学活) もしも誰も地球の未来のことを考えなかったら？ (道徳・総合)
公平性	<ul style="list-style-type: none"> もしも誰も障がい者/お年寄り/外国人の方を大切にできなかったら？ (社会・道徳)
連携性	<ul style="list-style-type: none"> もしもだれも協力しなかったら？ (道徳・学活) もしも外国が日本の品物/日本が外国の品物を全く買わなかったら？ (社会)

教材・資料



中国の遊びの紹介



- 学年会用パワーポイント自作教材 (学年会① 32枚、学年会② 35枚、学年会③ 41枚)
- 本「子どもといっしょに読みたい詩100」, 小林信次監修 たんぼ出版
ワド自作教材「暗唱詩文集1～3」
- パワーポイント自作教材「世界のはてまで知ってQ」(60枚)
「地球のかけはし絵手紙大会」(41枚)
- ワド自作教材「外国語の号令」「外国語でけんこうかんさつ」(7か国語)
- 「おもしろ算」 <https://www.youtube.com/watch?v=mymmZikqv4c>
- 「世界の文字で遊ぼう」ひらがなを世界の文字へ変換してくれるWEBサイト
http://www.geocities.jp/p451640/moji/skm/skm_00.html
- ゲストティーチャー： インドネシアとミャンマーからの留学生2人、中国籍児童の保護者
- NGOアイキャン (ICAN) 制作ビデオ「トゥライ・プロジェクト」(3分35秒)



外国語で健康観察

成果

子どもたちの意識・態度変容

(詳細は参考資料を参照)

- 多様性を楽しむ力の高まり
 - 外国語や外国のものへの関心の維持と広がり
 - 色や形の多様性への関心
- つながりを尊重する力の高まり
 - 国際交流への関心の高まり
 - 多様性を尊重する力の高まり

発展



多文化共生のための教育を国際理解の分野だけでなく、ESDというより広い枠組みの中で捉え、すべての教科・領域で実践を続けていきたい。特に、自然の中で感性を広げる活動、自分らしさを発見、肯定する活動をより多く取り入れていきたい。例えば、

- なりきり日記、音・におい日記 (自分の好きな音やにおいを見つけて言葉で表現する)
- 自然とふれあう遊び： 雲遊び (雲を自分や周りの人にたとえて、雲の変化を観察しながら、お話を作って楽しんだり、多様性や相互性や有限性を感じたりする)
- 「みんなちがってみんないい」見つけ (見つけたものをデジカメで撮影、発表、対話)

参考資料

子どもたちの意識・態度変容：

1. 多様性を楽しむ力の高まり

1) 外国語や外国のものへの関心の維持と広がり

- 「楽しく使おう！外国語」の授業を4月に開始してから、7か月が過ぎたが、子どもたちは今でも毎日のように、外国語でのあいさつ、返事、号令などで、毎日楽しみながら外国語を使っている。
- 7か月たった今でも、アイスランド語やドイツ語のあいさつを調べ、その資料をクラスの人数分コピーをしてきた子どもがいた。その後、クラスのみんなは、これらの新しい外国語もレポーターの1つに加えて、使っている。
- 給食時に使っているポリビアのピンクの塩に興味を示し、インターネットで注文をして購入する家庭や、フランスの塩やヒマラヤの塩などを自分で買ってその味を楽しむ家庭が4件あった。
- ミャンマーの留学生に教わったミャンマーのジャンケンで盛り上がる様子



ミャンマーのジャンケンで盛り上がる様子



ポリビアの塩のおむすび作り

<子どもたちが進んで見つけた外国語の面白さの例>

- ・ ポルトガル語では「ありがとうございました」の言い方が男女で異なる。男子は「オブリガー “ド”」、女子は「オブリガー “ダ”」。そのために、授業終了の号令をポルトガル語で言うとき、男女は相手よりも大きな声で言おうと、競争心をむき出しにして、何度も異なる語尾「ド～」と「ダ～」を呼び合っていて楽しんでいる。(外国語の仕組み)
- ・ 健康観察をフランス語の返事で行うとき、「はい」は「ウィ」だが、「ウィ～ス」と響きを変えて楽しんでいる。インドネシア語で「さようなら」は「ダー」。1日が終わると、私と「ダー」の呼び合いをして、笑顔で帰っていく子どもも多い。(外国語の響き)
- ・ フィリピン語で号令をかけるとき、「起立」は「トゥマヨ」。これを「ツナマヨ」と発音したり、「ありがとう」は「サラマッポ」だが「サラダッポ」と発音したりしながら楽しく使っている。(外国語のダジャレ)

ポルトガル語の号令

- ① **レバンタ** (起立)
- ② **アテンサオン** (気をつけ)
- ③ **バモサ・コメンサー・アウラ**
(じゅぎょうをはじめます)
バモサ・アカバール・アウラ
(じゅぎょうをおわります)
- ④ **ボル・ファボール** (おなげいします)
オフリガータ/オフリガード
(ありがとう)
- ⑤ **センタ** (ちやくせき)

2) 色や形の多様性への関心

- 自分の好きな色を「にじ色」と答える子どもが約半分いる。子どもたちは学校花壇のデザイン画、子どもの自由帳のお絵かき、係カードのイラストなどいたるところに、「にじ」を進んで描いてポジティブなイメージを発信している。

<図画工作科の子どもたちの授業感想> (「つながりを尊重する力の高まり」とも関連)

「線であいさつ、色でお話」(多様性・相互性・連携性)

- ・ いろいろな線で、他の国へ行けて楽しかった。
- ・ みんなちがう色だったり、同じだったりして楽しかった。
- ・ いろんな国や線があってカラフルで、とても楽しかった。
- ・ 気持ちがぐにやぐにやの線やくるくるの線になっておもしろかったし、みんなもっと友達になってよかった。
- ・ 自分の気持ちを線で表して、自分らしくできたとし、相手の気持ちもわかって、みんなの仲が深まった。
- ・ みんなの意見を聞いていると自分が想像した色や線とちがってすごいと思った。
- ・ みんなでいっしょにつくった世界は初めはよくわかんなかったけど、わかってきたら、すごくきれいに見えて、好きになった。

「つるして、つながれ」(多様性・相互性)

- ・ いろんな形ができて、おもしろい。
- ・ いろんな形があって、おもしろい。
- ・ こんなに広がるとは思わなかった。
- ・ みんなが心をつなげられてすごい。



「広げて、つながれ」(多様性・連携性)

- ・ (10色ビニールシートを)つなげると、とってもカラフルできれい。
- ・ みんなに自分たちが考えた遊びを教えたい。
- ・ こんなにたくさんのいろんな遊びが考えられてすごい。
- ・ 協力してできて、みんな楽しくて、もっと遊びたい。

2. つながりやを尊重する力の高まり

1) 国際交流への関心の広がり

- 5月の国語科「えらんだ理由を話そう」では、「旅行をするなら、日本よりも外国」と発言をしていた子どもたちはクラスで約3割しかいなかった。10月、ほぼ9割の子どもたちが外国の遊び、食べ物、文化に興味を持ち、外国の人と友達になったり、外国語を学んだり、旅行をしたりしたいと言った。

2) 多様性を尊重する力の高まり

- 算数の三角形の分類として、二等辺三角形、正三角形、その他（不等辺三角形）があるが、子どもたちは不等辺三角形を「みんなちがってみんないい三角形」と命名。その呼び名が大変気に入った様子で楽しんで使っていた。少しでも黒板用数え棒が反対についていることに対して、「ものすごく気になる！」と反応していた子どもたちも、喜んで使っていた。不完全なものへの寛容さや愛着が育まれてきたと感じた。

- 「もしもの世界」の子どもたちの授

学活「にじ色になつたいも虫」

- ・にじ色もステキだけど、一つずつの色がとてもよい色だと心の中から感じた。私が神さまだったらみんなをちがう色にする。
- ・みんなが同じ顔で同じ服だとつまらない。みんながそれぞれの色でがんばってほしい。
- ・みんなちがってみんないいって、みんなが心があたたかくなることだと思った。
- ・みんなが同じ色になると（誰だかわからなくなって）遊べないのいや。

もしもそれぞれちがう色だった7匹のいもむしが、神様によって、みんなにじ色にされてしまったら？

理科「地球の未来のために、話し合おう！：植物とこん虫と人」

理科で、ヒマワリの種（実）を数えた後の授業のこと。「大きなヒマワリの種の数、約2,000個！人間は普通一度に1人しか生まれてこないけど、もしもヒマワリがお母さんだったら、一度に2,000人の赤ちゃんが産まれるということ！さて、人間が一度に、2,000人ずつ、赤ちゃんを産んだら、世界はどうなる？」この34人のクラスで、1人が2,000人ずつの赤ちゃんを産んだら、約7万人の赤ちゃんが産まれることも、イメージさせた。「ええ～！」子どもたちの想像の世界は、どんどん広がっていく。そして、班で話し合った。

「地球から、赤ちゃんが落ちこちる！」「大人がいなくなる」「家なくなる」「家をつくるために、自然をこわすから、自然なくなる」「食べ物を取り合って、けんかになる」ESD（持続可能な発展のための教育）の構成概念の一つ、「有限性」に関する議論を、3年生が縦横無尽に展開していた。

「コマユバチは世界に必要か？コマユバチがいなかったら、世界はどうなる？」チョウの幼虫の飼育で、何度も幼虫に寄生し、その命を奪ったコマユバチについての話し合い。がんばって幼虫を育ててきた子どもたちにとっては惜み存在だ。でも、コマユバチがいなくて子どもは発言。「地球がアオムシだらけになる」「鳥のエサがなくなる」「（マユがなくなって）服がなくなる」感心した。ESDの「相互性」に関する激論だ。

これまで10年間教師をしてきて、一番活気と笑顔と学びのある、対話だった。「もっと、やりたい！」たくさん子どもたちが言った。子どもの特技である想像力と遊び心を大切に、ESDを進めていきたい。

<暗唱した詩の例>

多様性・相互性・有限性・責任性・公平性・連携性

① かがやく

- にじ（新沢としひこ）多・相・有
- 教室はまちがえるところだ（まきたしんじ）責・連
- 心に太陽を持て（フライシュレン）相
- 今日からはじまる（高丸もと子）多・相

② つながる

- こだまでしょうか（金子みすず）相・責
- わたしはひろがる（岸武雄）多・相・責・公
- よかったなあ（まどみちお）多・相
- はきものをそろえる（藤本幸邦）相・責
- ありがとう（谷川俊太郎）相
- 空気（まどみちお）相・責
- あい（谷川俊太郎）相
- ともだち（須永博士）連

③ 「みんなちがってみんないい」

- おならはえらい（まどみちお）多
- わたしと小鳥と鈴と（金子みすず）多・相
- じこしょうかい（まどみちお）多

管理者記入欄：

ESD（持続可能な開発のための教育）カレンダー 3学年 「にじのせかいをつくろう」

豊田市立若林東小学校

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
国語	詩の暗唱（音読の宿題） 多相連 「自然のかくし絵」 多	えらんだ理由を話そう 多 「旅行は日本、外国？」	様子や気持ちがわかるように音読しよう 主人公の気持ちとつながる	「サ-アのライク」 相	スピーチでつながろう 相 （朝の会）	お話を作ろう 多	「もうどう犬の訓練」 公	世界の民話を読もう 多	俳句に親しまおう 多	世界の家めぐり 多	私の作品集を作ろう 多相有責公連					
書写	「にじ」 多相連	自分らしい「にじ」を書こう	思いやり算	「心」 多相公連	「光」 多	「木」 有				「にじ」 多						
算数	0を4つで区切る言い方vs3つ	一億までの数 多	たし算とひき算 多	インド式暗算	重さ 多	12の教具	分数 多	表とグラフ 有			そろばん 多					
理科	自然の観察をしよう 多相 地球の未来のために話し合おう！「植物とこん虫と人」	植物／こん虫を育てよう 多相有	風のはたらき 有	太陽の動きと地面の様子 相	光のはたらき 相	豆電球 多相	磁石 多相	地球も磁石								
社会	学校のまわり 多相 いろいろな土地の様子	市の様子 多相 空から見ると（google earth）	店ではたらく人	工場の仕事	農家の仕事	古い道具と昔の暮らし 相有	のこしたいもの つたえたいもの 相									
図工	形や色を楽しもう 多	線であいさつ色でお話 多相連	国旗パズル 多相	広がれつながれ 多相連	つるしてつながれ 多相連	ふわりくるくる風パー 有	光を通して 多	アートたんけんたい 多		自然からのおくりもの 多						
体育	体ほぐし・体づくり運動 多相	友達と教え合い、はげまし合って、学習しよう 多連														
音楽	メロ原曲「ゴキブリさん」をスペイン語で歌う	拍の流れにのろう「車にゆられて」 多	国際交流協会	いろいろな音色を感じとろう 多	音のかさなりを感じとろう 多相	日本の音楽に親しまおう 多	音楽を楽しもう パプアニューギニアの7M演奏 多									
総合	世界とつながろう！みんなのえ顔 多相責連 インドネシア、ミャンマー、中国、台湾 男女共同参画センター 大豆の栽培															
道徳（わたしたちの道徳）	「楽しく使おう！外国語」 外国籍児童との交流	「みんなで遊ぼう！世界の遊び1」 留学生・外国籍児童の保護者との交流	「地球のかけ橋」ロゼット フィリピンとの絵手紙交流	「みんなで遊ぼう！世界の遊び2」 1年生に伝えよう	「よさを味わおう！世界の料理」 外国籍児童の保護者・日本語指導員との交流											
学活	自分の良い所をのばして 多	友達とたがいに理解し合って 多	自然や動植物との関わり 相	命あるかぎり生きる 有	社会のきまり 有	みんなでつくる学校 有連	心のつなひき 相	だれに対しても真心をもって 公	そんけいと感謝をもって 相	今のくらしをつくったお年寄り 相	伝統と文化 多					
行事	学年会 多相連	つながるいのち 相	男仲よく 多連	学年会 多相連	お楽しみ会 連	「にじ」色いもむし 多	おたがいのいのち 相	学年会 多相連	お別れ会 多相有連	思い出算	運動会ダンス「にじをかけよう！大空へ」 多連	祖父母参観 国旗パズル	秋の祭典 連	学芸会劇「本当の宝物」 多相有連	大縄大会 連	6年生を送る会 連

ESDの中心概念： **多**多様性（いろいろある） **相**相互性（関わりあっている） **有**有限性（限りがある） **責**責任性（責任をもって） **公**公平性（一人一人を大切に） **連**連携性（力を合わせて）